



杉山たかのり

 ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) フェイスブック [杉山孝教](#) で検索を

杉山たかのり議員の一般質問（2016年9月7日）

UR 借上げ市営住宅問題で追及

杉山たかのり議員は、9月7日一般質問にたち、①市営住宅や市民館などの縮減をねらう公共施設マネジメント、②UR借上げ市営住宅問題、について取り上げました。

「画期的な制度」と、異常な市認識

杉山議員は、UR借上げ市営住宅問題が、市が住民を訴えるという異常な事態を示し、「問題点など検証はしたのか」と質問。市は「司法の判断が示されていないため検証はしていない」「災害時の一時的・緊急的な住宅需要への迅速な対応が可能」として「画期的な制度」との認識を示しました。

しかし、市はもともと借り上げ住宅を恒久住宅と位置付けていたのです。市による追い出しに訴訟まで発展した借り上げ住宅問題をまともに検証もせず「画期的な制度」と評価する市の認識の異常ぶりが示されました。



コミュニティ壊す全市バラバラ移転 市「選択肢が広がる」

杉山議員は、住宅部が進めている甲子園九番町、石在町、甲子園春風町の建て替えを含む南部統廃合計画と、第2次として計画中の北部統廃合計画と比較して、借り上げ住宅の住み替え計画のずさんさを明らかにしました。

廃止とする津門大塚・綾羽町や今津水波・出在家町、南甲子園3丁目などの入居者は、ほとんど建て替え新築の3団地を受け皿住宅としてコミュニティ毎の移転計画となっているのに対し、借り上げ住宅は、全市に発生する空き家に随時転居という方式で、コミュニティを無視したもの。市は、「住み替えていただく対象住宅の場所は市内全域」として、「選択肢が広い」と強弁。本当にそうであれば、統廃合も同様にするはずですが。

北部統廃合では入居者に意向調査、 同じ市営住宅入居者なのに、なぜ差別的な扱いするのか

北部統廃合計画では、入居者アンケートによる一入居者の意向により、建て替え場所も当初より便利な所に変更することになっており、同じ市営住宅に住む市民なのに、建て替え統廃合計画対象の入居者と UR 借上げ市営住宅の入居者とあまりにも扱いが違います。

杉山議員の質疑では、5年間の契約（その後1年ごと更新できる）のルネシティ（津門大箇町）では、5年間の区切りにはなんら検討がされず、移転先の受け皿住宅についても検討がされていません。全く“無策”のまま、全地域への転居を強要する方針となっています。

杉山議員は、市の無策ぶりを厳しく批判しました。

公共施設マネジメント

「総量を一律に削減するものではない」と答弁

杉山議員は公共施設マネジメントについて質問。公共施設マネジメントとは、自治体が保有している全公共施設を自治体経営の視点から総合的かつ総括的に企画、管理及び利活用する仕組みで、国は公共施設を減らすことによって、地方交付税を減らし、リニアモーターカーで名古屋、大阪をつなぎ首都一極集中の予算投入を目論んでいます。将来の人口減少、税収減が背景にあります。

現在、西宮市でも、市営住宅削減計画、公民館や市民館の統廃合、公立保育所の民営化、公立幼稚園の廃止などが進められつつあります。方針では、公共施設総床面積を2032年には10%、2062年度には20%削減する計画となっています。

杉山議員は、「人口が増えている西宮市では公共施設を減らす必要はない。高齢化なら、逆に身近な公共施設を増やすべきだ。新たに必要な施設も管理すべきだ」と主張。市当局は、「総量を一律に削減するものではない。行政需要に不足するような機能を確保することは必要」と答弁しました。

今津公民館・別館

マイク型カラオケも使えるプロジェクターを一式整備

日本共産党西宮市会議員団の開催した予算要望懇談会で出された、今津公民館の別館にテレビモニターが使えないという問題で、杉山議員は教育委員会とやり取りをしていましたが、最終的にはテレビではなく、プロジェクターを使えるように、スクリーン、DVD プレイヤー、スピーカーを整備することになりました。どの部屋でも手軽につかえます。もちろん、マイク型カラオケも OK！他の公民館にもひろげよう！